

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音								
1 室内騒音レベル				3.0				
2 設備騒音対策								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能				3.0				
2 界壁遮音性能				3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0				
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1 室温				3.0				
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能				3.0				
4 ゾーン別制御性								
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御				3.0				
2.3 空調方式				3.0				
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
1 昼光率				3.0				
2 方位別開口				3.0				
3 昼光利用設備				3.0				
3.2 グレア対策								
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御				3.0				
3 映り込み対策								
3.3 照度				3.0				
3.4 照明制御				3.0				
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質				3.0				
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気								
1 換気量				3.0				
2 自然換気性能				3.0				
3 取り入れ外気への配慮				3.0				
4 給気計画								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>4.3</b>
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	1.00			
1 広さ・収納性						3.0		
2 高度情報通信設備対応						3.0		
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観						3.0		
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 衛生管理業務								
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>4.1</b>	0.52			<b>4.1</b>
2.1 耐震・免震				<b>4.6</b>	0.48			
1 耐震性	エネルギー法による損傷制御設計を行なっている			5.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.9</b>	0.33			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁に補修間隔30年以上の金属サドイッチパネルを採用			5.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	天井に耐用年数20年以上の化粧石膏ボードを採用			5.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管に塩ビインジコ鋼管、排水管に硬質塩化ビニル管を採用			5.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23			

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	超節水型の器具の採用、水廻りの分散化による対応	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	電話以外の情報経路の確保、サーバ-室を2階に設置	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.4	0.48	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	各階の階高として7m以上確保	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.043	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		設計用積載荷重15000N/m <sup>2</sup>	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	ESP、将来対応ケーブルラック、外壁将来開口部パネル設置	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	ESP、将来対応ケーブルラック、外壁将来開口部パネル設置	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	将来用設備機器置場を確保	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率照明器具の採用	5.0	0.43	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	超節水型器具、擬音装置の設置	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.63	-	-	4.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎躯体コンクリートに高炉セメントを使用	5.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	合成スラブ用デッキプレート、硬質塩化ビニル管、長尺塩ビシート	5.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	事務室床はフリーアクセス、スチールパ-ティションの採用など	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法指定物質を含まないことをメーカーからのMSDSで確認した	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.9
1 地球温暖化への配慮		照明エネルギー使用量が少ない	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止	施設内で燃焼機器の使用はない	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場、駐車待機スペースの確保など	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていないなど	4.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	